



2010～2011年度
R I テーマ

Building Communities - Bridging Continents
地域を育み、大陸をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長

レイ・クリングスミス (国籍・米国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0800 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	木村きぬゑ	理事	津末美代子	役員	会長	木村きぬゑ	S A A	近藤 賢司
◇	亀井 孝	◇	大島由美子	副会長	亀井 孝	直前会長	近藤 賢司	
◇	河村 貴雄	◇	高宮 勝美	幹事	後藤 隆			
◇	村津 忠久			会計	河村 貴雄			

VOL. 23-38
2011年4月26日

第1046回例会

会報委員長 衛藤 秀子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 手に手つないで
- ◆唱 歌 鯉のぼり

◆出席報告 出席副委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	23 名
	出 席 者	17 名
	事前メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
	欠 席 数	3 名
	出 席 率	77.27 %
前々 回 の 訂 正	出 席 率	80.95 %
	事後メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	2 名
	修 正 出 席 率	95.24 %
4/12	連 続	- 回
	通 算	742 回 100 %

会長の時間

会長 木村きぬゑ

「今日の食事はフルコースです！」誰が言ったの？

実はハンバーグ定食でした。先にランチの内容が「フルコース」だと知らされると、その言葉から美味しさまでも連想して嬉しい気持ちになりました。

日々の家庭の食事でも「今日の料理はおいしいよ」この一言が決め手のスパイスです、奥様に笑顔も出ます。

話は変わるのですが、皆さんにお願いがあります。私の会長の期限もあと一カ月余りになりました。そこで会員の皆様の奥様と一度食事をしたいなと思っています。どうぞ何かの機会に私の願いを叶えてください。クラブ会員の皆さんの陰で一生懸命ご主人を支えておられる奥様方に、私から「お疲れ様です」と言いたいです。よろしくお願ひします、そういう機会を作ってください。

・メイクアップ

事前 村津、中尾（地区協議会）
事後 堀、岐部（別府北）
欠席 森園、大島、栂田
出席免除 溝部

幹事報告

幹事 後藤 隆

1. 本日の内容
「震災後の新時代を生き抜く」平野英壽会員
2. 第11回定例理事・役員会報告
(平成23年4月19日(火)例会終了後～
於：ホテルニューツルタ 7名)

審議事項

- 1) 新会員候補者の件。※受理



3. 本日、例会終了後、「第12回臨時理事・役員会」を開催致します。
4. お祝い（次週、休会の為、本日2週分お祝い致します。）
 会員誕生日 梅津ヤヨイ会員（5月7日）
 ※記念品をお渡し致します。
 結婚記念日 亀井 孝会員（4月29日）
 ※ご自宅にお花が届きます。
5. 例会変更のお知らせ
 大分RC 5月10日（火）の例会は、夜間例会の為 同日18：30～大分全日空ホテルオアシスタワーに時間場所変更
 大分中央RC 5月11日（水）の例会は、職場例会の為 同日12：30～イトダネームに場所変更
 別府RC 5月13日（金）の例会は、職場例会の為 同日12：30～両築別邸に場所変更
6. 次回例会の予定
 5月3日（火） 法廷休日の為、休会
 5月10日（火） 衛藤秀子会員「会員卓話」
 * 当日、例会終了後、「第11回定例理事・役員会」を開催致します。理事・役員の方はご出席宜しくお願い致します。
7. 本日の回覧
 ①「湯布院RC創立20周年記念式典」出・欠席（6月11日）
8. 本日の配布
 ①週報No.1045
 ②ロータリー探究：「クラブの自主権について」
 鳴海淳郎R情報委員長より

○梅津会員

本日はお誕生日の御祝いありがとうございます。5月7日生まれですが、ヤヨイと申します。いつになっても、どんな時代になっても、誕生日は嬉しいものですが年はとりたくないものです。いつまでも若々しくいたいと思っています。

○亀井会員

平野会員の卓話、楽しみです。前回の“帰矢”の話も大変参考になりました。

後、私から母と子の話を口頭にて2件話したいです。

○河村会員

今日の皆さんの笑顔にスマイル。

○平野(英)会員

バタバタで何を書いていいかわかりません。今日、つたない卓話で申し訳ないですがよろしく。

○村津会員

一昨日・日曜日、「第35回・大分第九の夕べ」の結団式が行われ、今年12月18日の本番に向けての練習が始まりました。

年末のオンステージを目指す団員は192名。

全員の練習精進と成功を祈りスマイル。

○森会員

妻の声昔ときめき今動悸

あのボトルまだあるはずの店がない

共稼ぎ妻の稼ぎは妻のもの

梶原さん、昼間からハッピーバースデーやら

こいのぼりやら大きな大人が唄います。最初はみんな恥ずかしいのです。大丈夫何も問題ありません。すぐ慣れます！

卓話

平野 英壽

震災後の新時代を生き抜く

東北関東震災は、3月11日金曜日の午後2時46分に起きました。その週の株式市場が終わる14分前でした。

その数分間で株価は急落しましたが、本当のバニックは翌週の市場が開いてからでした。

月曜日、火曜日の2日間で日経平均株価は1649円も下がりました。株式市場だけで、失われた国富はざっと50兆円以上に上ったのです。ただし、この急落「人災」だという指摘もあります。

地震当日東京のスーパーやコンビニで起こった

スマイルボックス 委員長 森 宗明

○木村会長

うれしい、今日はフルコース。

食べる事に喜びを感じる年頃。感謝感謝。

○後藤会員

アプランティでの例会は初めてです。次回もここがいいな！

○近藤会員

今日はフランス料理レストラン「アプランティ」が例会場ですので、フランス料理のフルコースが出てくることを期待してスマイルと思ったんじゃないけど。



ことはと言うと、コンビニ店の弁当・おにぎり、そして、せんべい等はすぐ消滅しました。

電車が止まり帰宅できず会社に泊まる人たちの需要でした。2日目には午後になり福島第一原発の報道がされてからスーパーで異変が生じました。米、ミネラルウォーター、カップ麺、乾電池等がスーパーの棚から一気に消滅しました。

3日目日曜日大手スーパーでは食品売り場は入場制限がされ長蛇の列ができたそうです。

5日目にはガソリンスタンドに車が殺到しついにはガソリンが底をつき営業停止に追い込まれていました。

住宅建材の状況としては被災した建材工場の生産も止まり被災地にも行き渡らず被災地以外では仕入が困難です。

どの業界もモノ不足です。資材不足で多くの現場で工事がストップしています。

日本による資材、原油等の緊急輸入が突然始まり新興国需要に日本復興特需が重なります。日本の原材料価格や電力価格がこのままのはずもなく、モノ不足に加えインフレ価格高騰の可能性があります。

建築費高騰はすでに現実です。多くの消費者はまだ知りませんがいずれ伝わります。

始まるのは「今買わないと大変だ」と言う緊急需要です。

そんな中、東日本大震災の被災者向け仮設住宅の第1弾として3万2800戸が発注されました。3月26日まですでに2645戸が着工しています。一方で東北や北関東などに集中している建材や住宅設備メーカーは被災し生産が止まっており今後の供給が危ぶまれます。住宅建材はその多くが被災地に向かっています。

それ以外の地域でサッシ・合板・洗面台等の流通在庫や販売在庫はすでにおおた消えてしまいました。既に工事が進んでいる現場でも建材確保ができず納期遅れがでています。

そして建材の確保がなければ新たな仕事を受けられなくなります。

購入金額は言い値での仕入れになっても仕方ありません。資材が仕入れられれば幸せです。

自動車業界をはじめ、どこもここも部材確保をしないと会社と従業員と取引先を守れません。今はまだまだなんとかなっても流通在庫はいつかはつきます。タバコの流通在庫が尽き、国内生産タバコは欠品が相次いでいます。

そこで今度の事態のように最悪や想定外の事態は何か？です。

大切なのは可能な限りの部材在庫確保です。インフレ前提なら在庫リスクは在庫なしリスクより遥かに軽いはずです。

あのような大災害があれば、金儲けだけを考える海外のヘッジファンドは、まず一斉に空売りをかけて危機を煽り十分に下げたところで買い戻して巨額の利益を得ようとします。今回も事実、そうした動きもあったようです。

それは予想されたのだから、市場を開けることは良いとしても、少なくとも空売りを禁止するとか、大口の空売り注文の発注者を公表するなど「火事泥棒は許さない」という日本市場のメッセージを内外に示すべきだと感じます。

金融界では、経済停滞や保険金支払増大などを懸念した金融株の下げが目立ちました。原発事故や計画停電を引き起こした東京電力の株価が急落したのは当然としても、思いばかりが先行するマネーゲームの様子を示していました。

メガバンク幹部の方も言っているように、現実にはこの地震で銀行の業績が落ちることなどあり得ません。むしろ復興事業で巨額の資金需要が生じるからビジネスチャンス拡大する可能性も充分あります。手持ち株の価値下落は確かに痛いですが、昔のように株を大量に保有しているわけではないので、その影響も限定的です。株価下落は実態を反映してはいません。

事実、阪神大震災直後の1995年度には全国の銀行の業務純益は6兆7435億円となり直近のピークを示しています。もちろん経済成長など他の要因が大きいので一概にはいえないが、少なくとも大震災が銀行の業績を悪化させたデーターはありません。

実は、売りを浴びせた外国人投資家たちも、株価暴落のさなかに「日本経済は“買い”ではないか」と分析していたフシもあります。

立花証券執行役員、平野憲一氏が明かした言葉をご紹介します。

「株価が暴落した3月15日の取引を見ると、売り2に対して買い1が入っています。

冷静に分析している投資家は、この下げは日本経済の現状を反映したものではないと見て、ここを絶好の買い時だと判断していたことが推測されます。

被災地域の被害はもちろん深刻ですがもともと日本は生産能力に余剰があったので、被災地域外の生産活動を活性化させれば、日本全体の生産能



力が著しく落ちるということはないのです。

中長期的には復興需要も起きるので日本経済は成長する可能性が高いでしょう。まずは建設機械、橋梁、道路関連などに追い風が吹き、さらに陸運、海運など物流も業績を拡大する余地があります。」とのことです。

もちろん、どんな見方をしようと災害は朗報にはならないですが、だからといって「これで日本経済はもう駄目だ」というのは全く間違った見方なのです。

思えば日本経済がこれまでに抱えてきたのは、デフレや財政赤字、あるいは少子高齢化といった「目に見えない危機」ばかりでした。あのリーマンショックでさえ、「命までは取られない」という安心感がありました。

切羽詰まった恐怖ではなかったがために、対応はつつい遅れがちであったともいえます。それが今では「目に見える危機」が迫っています。

震災後の2週間で、多くの異常事態が起きました。膨大な死者・行方不明者、寸断されたインフラ、原発事故、ガソリンや日用品などの品不足、計画停電、そして放射能への恐怖などです。文字通り、判断の誤りや一瞬の遅れが命取りとなりかねないのです。

ただし今までのような「目に見えない危機」とは違い国家的な団結や各方面の協力を得ることは容易になりました。

多くの国民は冷静かつ辛抱強く対応しています。

災害の現場では救助のプロや専門家たちが犠牲的なまでの献身をしてくれていますし、諸外国からも多くの援助が寄せられています。かつてこれほど日本が世界から注目され賞賛され、懸念された瞬間があったのでしょうか？あらためて痛感するのは「3月11日」を境に日本は変わったという事です。

こんな中、震災後の世界を生き抜くには、現役世代はデフレしか知りません。インフレへのノウハウはありません。

昭和バブルは不動産等の資産インフレであって物価インフレではありません。まだ実感はできませんが、震災を経て私たちは違う経済世界に飛んだようです。

そこでどう生き抜くかを考えましょう。例えばもし円安に振れば即座にモノはコストアップです。そうすると震災で曇る消費と需要の下で「どう値上げするか」となります。せめて頭の中ではシュミレーションを始めましょう。上げ方は小出しか大胆か、いつどう値上げか。どう仕入れるか。物価インフレは未体験ゾーンです。これからは日本固有のソーシャル・キャピタルを生かしていくことが必要です。

ソーシャル・キャピタルというのは、この概念の生みの親である社会学者のパットナムは、「人々の協調行動を促すことにより社会の効率性を高める働きをする信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴」と説明しています。つまり、信頼関係、ネットワークなどは一種のストックであり、その存在が地域の活性化、経済活動、コミュニティの形成などに大きな役割を果たしているということなのです。

今回の災害に際して、特に海外のメディアは、日本人の災害に対しての規律正しさと助け合いの精神を称賛しています。

これはまさに日本全体に存在するソーシャル・キャピタルです。緊急時に発揮された日本のソーシャル・キャピタルが、日本経済復興の過程でもその役割を果たすことができるのか。それがこれから問われることになるのです。

会員コラム

森 宗明

「ひとつの言葉」

ひとつの言葉でけんかして
ひとつの言葉で仲直り
ひとつの言葉で泣かされて
ひとつの言葉で笑いあう
ひとつの言葉で騙されて
ひとつの言葉で信じあう
ひとつの言葉はそれぞれに
ひとつの命を持っている

と言うなんともおとめチックな詩ですが、良い詩

だだと思います。

57年生きてきて、生きていく為に大切な事、幾つか気付いています。

人間関係で一番大切なのは、「愛」だとか「信頼」だとか「責任」だとかいろいろありますが、多分「言葉」だろうと考えています。

「言葉」は「言霊」とか「事の端」とか言い換ええますが、人を活かすも殺すも、自分を活かすも殺すも「言葉」です。

今回は、梅津ヤヨイ会員です。